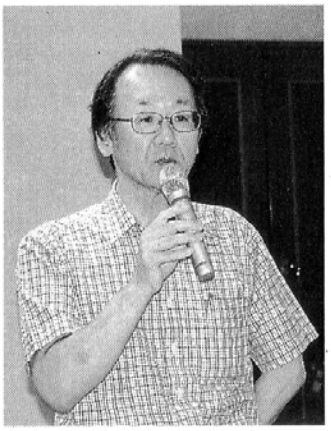
熱海新聞

# 旧日向別邸の魅力聴く

## 公開5周年で特別講演会

国の重要文化財「旧日向別邸」＝熱海市春日町＝の公開5周年を記念した特別講演会が10日、同市昭和町の起雲閣で開かれた。市内外から約50人が集まり、駿河台大教授の太田隆士さん（市内在住）による「ブルーノ・タウトとその時代―ワイマール文化および表現主義の観点から」と題した講演を通して、タウトが生きた時代や旧日向別邸の魅力について理解を深めた。



講師の太田さん

旧日向別邸は1936年の建築で、その地下室はドイツ出身の建築家ブルーノ・タウトが設計した。

太田さんはドイツ文学やワイーンの文化などを研究テーマにしていて、この日はワイマール共和国の政治・文化状況などを交えタウトの活動、旧日向別邸について語った。「タウトは帝政時代の矛盾を理解し、新しい共和制の中で新しい共同体のあり方を求め、積極的にかかわった。しかし政治的には新しい民主主義への拒否の姿勢は根強く残っていた。こうしたねじれた状況がタウトをほんろうし続けた」と解説。「タウトの写真はたくさんあるが、時代のあつれきに疲れ切った姿がよく出ている」。

市内外から約50人が集まり、太田さんの講演に耳を傾けた＝起雲閣

またタウトの著作から、日本滞在中の生活や桂離宮論などを紹介。旧日向別邸について「タウトが日本で建築の機会を得たとき、桂離宮で体得した美的体験を、旧日向別邸という空間に〝持続させ〟〝残そう〟としたことは十分に考えうること」と話した。

旧日向別邸は2004年に市の所有となり、翌秋から土・日曜日と祝日に予約制で一般公開している。特別講演会は公開5周年の節目に、文化・芸術の観光都市熱海を内外にアピールして熱海の活性化につなげようと、同邸の維持・保存活動に取り組む旧日向別邸保存会（中井正勝会長）が企画し主催。熱海新聞・伊豆新聞と市文化交流課、市観光協会が後援した。

熱海新聞
熱海市上宿町11-4
〒413-0018
電話0557(81)0648
電話0557(81)2134
FAX0557(83)3553

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話0557(36)1234

ホームページ
http://www.izu-np.co.jp/

ハートフル・セキュリティ
明成警備保障株式会社
熱海市田原本町九番一号 熱海第一ビル五階
TEL.0557-84-2405

三国眼科
<熱海駅前 熱海第一ビル3F>
●診療時間／午前9:00～12:00 午後3:00～6:00
●休診日／木曜日・祝日（土曜日午後）
Tel.0557(83)0102
http://www.392.jp/

豆
伊
東

## 失踪宣告手続き了承

### 100歳不明男性の長女

100歳の男性の所在が不明となっている東伊豆町では9日夕、町担当職員2人が一緒に住んでいた長女（68）方を訪ね、家庭裁判所への失踪宣告手続きを勧めると長女も了承したという。

失踪宣告は不在者の生死が7年間明らかでないとき、普通失踪、家庭裁判所が申し立てにより、生死不明の者に対して法律上死亡したとみなす効果を生じさせる制度。

町の聴取に対し長女は「父は平成6年1月に置き手紙を残し出ていっ

た。『探さないでくれ』と書いてあった」と話しており、町職員が失踪宣告手続きに必要な書類などを照会して手続きを勧めると「手続きします」と話したという。

## 来月、小田

### 観光人材養

熱海市の加盟する「箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏推進協議会」の共催する地域密着型観光人材養成研修会（日本観光協会主催）が9月7日、神奈川県小田原合同庁舎で開かれる。詳しくは熱海温泉ホテル旅館協同組合（電0557（81）5141）へ。